

第 9 1 回

2015 9 / 30 水 18:00 - 19:00

モデレーター：熊ノ郷 淳 (大阪大学大学院医学系研究科 副研究科長)

記憶情報の脳内表現の 可視化と操作

未 来

大阪大学吹田キャンパス
最先端医療イノベーションセンター 1F
マルチメディアホール
19:10～ 情報交換会：1F ホワイエ

医 療

主催：大阪大学大学院医学系研究科

共催：未来医療交流会

後援：文部科学省橋渡し研究加速ネットワークプログラム

大阪大学「TR 実践のための戦略的高機能拠点整備」

厚生労働省早期・探索的臨床試験拠点整備事業

大阪大学医学部附属病院未来医療センター



松尾直毅

大阪大学大学院

医学系研究科 分子行動神経科学 独立准教授

私たちの日々の経験により得られる記憶情報が、どこで、どのように表現されているのか？という記憶痕跡に関わる素朴な疑問は古来より多くの哲学者、科学者を魅了してきた。

私たちはimmediate early genesのひとつc-fos遺伝子のプロモーターを利用したトランスジェニックマウスの開発を行い、脳の各階層における記憶痕跡の可視化とその解析を行ってきた。さらに、神経活動を操作する遺伝学的手法を組み合わせることで、記憶情報を担う特定の神経細胞群の活動制御を介した記憶の操作を行うことも可能となりつつある。本講演では、これらの技術を活用した私たちの研究を紹介し、記憶の脳内表現と、その行動表出の制御の仕組みについて議論を交わしたい。

セ ミ ナ ー